

デジタルハリウッド大学

アドバイザリーボード会議

2021 年度

2021 年 11 月 10 日（水）13:00-14:00

[会場] オンライン開催

[出席者] 杉山知之学長、稲見昌彦、鮫島正洋、谷川じゅんじ、藤村哲也、木原民雄（専攻長井）、高橋光輝（学部長）、池谷和浩（事務局長・大学事業部長）

[陪席] 檜木野綾子（大学事務局）

[議事]

- 1 デジタルハリウッド大学（学部・専門職大学院）の現況報告
- 2 ボードメンバー近況報告
- 3 デジタルハリウッド大学へのアドバイス

1. デジタルハリウッド大学（学部・専門職大学院）の現況報告

事務局より、この1年のデジタルハリウッド大学の活動について説明があった。

- ・学生募集の状況
- ・DHU 2025 VISION BOOK 再確認
- ・近未来教育フォーラム 報告
- ・専門職大学院 Web サイトおよびタグラインのリニューアル
- ・DHU 研究紀要 論文発表会
- ・学発ベンチャー企業数 第12位
- ・授業におけるアバター利用「beCAMing」
- ・アーティスト・イン・レジデンス

2. ボードメンバー近況報告

各ボードメンバーより、各々のビジネスをとりまく環境について、近況の報告があった。

- ・藤村氏・・・日本 IP のハリウッド進出の状況

- ・鮫島氏・・・昨今のオープンイノベーションの状況
- ・谷川氏・・・スマートシティ化や地域サステナビリティの状況
- ・稲見氏・・・デジタルの中におけるアイデンティティの変化の状況

これを受け、高橋学部長より、「産業界の最先端の状況を知ることができた。特別講義で学生や保護者へ届けられるような場をいただけるとありがたい。」との依頼があった。

また、木原専攻長より、「新しい対話の仕組みやリデザインを求められていると感じた。バーチャルで行うと補足され、リアルで行うとシームレスにできると感じた。未来やアップデートに向かうような対話を考えたい」との感想が述べられた。

3. デジタルハリウッド大学へのアドバイス

杉山学長より、各ボードメンバーに、本学へのアドバイスを述べるよう依頼があった。

・藤村氏

全般的に起業家数が伸びていない。デジタルハリウッド大学は全国の大学の中でも12位の起業率であることは、かなりのアドバンテージである。そこを戦略的に伸ばしてゆくと良い。

・鮫島氏

様々な大学から起業について、リーガル面や知財面の相談を受けたが、デジタルハリウッド大学からの相談は無かった。そういうルートがシステム化されていないのではないか。最初の段階で間違えると良い案件でも企業価値がなくなってしまうかもしれない。相談窓口を作るなどすると良い。

・谷川氏

卒業生やデジタルハリウッドに関与した人の数が増えてきて、色々ところで出会うようになった。コミュニティがもっと見えても良いと思う。アバターなどを使いながら、利害関係を越えたところで関係構築し、素性を明かしてあっていくという従来とは逆の流れもあって良いだろう。デジタルハリウッドのコミュニティでそれが実現できると良い。AIマッチングを使用するなど良いかもしれない。

・稲見氏

デジタルハリウッド大学の方向性は間違っていない。ますます世の中でニーズが高まっ

ている。一方で、テクノロジーの発展により我々の力をアップデートしたとき、「この指とまれ」力が必要である。みんなが興味を持つことを構想し、形にし、広められる力。そこをより強化すると良いと思う。また、ダイバーシティのムーブメントはあったが、混ざっていなかった。その後、インクルージョンという言葉が出てきた。役割をよく考えながら行動すると良いと思う。

以上